

計画第3期突入！ CS本格実施へ

小中一貫・CS通信

NO.34 R4.1.28 幕別町教育委員会 学校教育推進員

新しい年が明け3学期が始まりました。今年こそ落ち着いた穏やかな年になってほしいと願うばかりですが、凄まじい勢いで広がるオミクロン株に気の抜けない日々がまだ続きそうです。基本的な対応はこれまでと変わりませんので、冬季休業中に貯めた元気をもとに、しっかりと感染対策を取りながら短い3学期を乗り切っていきましょう。

今月は第2回連絡会議や学園の実践交流会・研修会等の様子を中心にお知らせします。

第2回小中一貫・CS推進連絡会議開催 12/21

12月21日(火)、第2回小中一貫教育・CS推進連絡会議が5つの学園をオンラインで結び開催されました。今回は、取組が進んでいるまくべつ学園の乗入授業の様子、札内東学園の地域協働活動の様子の報告と、それらについての質疑応答という内容で行われました。

はじめに山端教育部長が教育長挨拶を代読、次にまくべつ学園が取組を報告しました。年間245時間の乗入授業を計画通りに実施しているまくべつ学園からは、導入にあたっての取組の様子が紹介され、具体的な工夫として次の3点が強調されました。

①日課表を合わせる(3校時5校時の開始時間をそろえる)、②学習の決まりを合わせる、③9年間を見通した教育課程の整備(教科の目指す子ども像、育てたい資質・能力を明確にする)

実際の乗入授業の動画や肯定的な子ども達の感想も紹介され、さらに取組の成果として、①年間計画に位置付けることで見通しをもって取り組めたこと、②中学校教師の専門性を生かしたこと、③T1小学校教師、T2中学校教師の形がうまくいくこと、④指導内容の共有化や児童理解が深まったこと、が報告されました。



札内東学園からは、地域協働活動について総会の様子を中心に報告されました。さらに札内東学園運営協議会の堀川貴庸会長、岡部直子委員が登場し、インタビューに答えながら熱い思いを語りました。協力員にも登録している堀川会長は、「なかなか活動できず理解も進まなかったが、これから先生方から子どもたちのためにこんなことをしたいんだと伝えてもらえれば、僕らのほうから実現のための場と方法を考えて提案できる。」と力強く語りました。また、岡部委員からは、「お客様状態から抜け出していけないといけない。テンポよくやっていかないとせっかく集まった人たちも離れてしまう。がんばりたい。」と能動的な意欲が語られました。

質疑応答では、まくべつ学園に対して、「どうやって時数等を決めたのか、打ち合わせはどのようにしているのか」等の質問が寄せられ、「目指す子ども像から教科を決め、中学校の校内体制の構築で時数を決めていったこと、打ち合わせは隣接の一小一中という強みを生かし、時間を見つけては短時間でもかなり細かい打ち合わせをしていること」などが回答されました。

札内東学園には、協力員について、「どんな方々なのか、どのように確保したのか」等の質問があり、「会社員から公務員、自営業の方まで幅広い分野から応募があったこと、運営協議会委員の方々の紹介や声かけが大きな力になったこと」などが回答されました。

この日はネット回線が不調で、糠内学園がなかなか入れず、さらにちゅうるい学園も途中で離脱する等のアクシデントがありましたが、参考となる2つの学園の取組から大いに刺激を受ける会合となりました。来年度の会議では残る3つの学園の報告を楽しみにしたいと思います。

ちゅうるい学園実践交流会開催 12/17 忠類中学校

12月17日(金)、ちゅうるい学園実践交流会が忠類中学校で開催されました。はじめに1年英語の授業が公開されました。1人1台端末を活用し個々の書き込みを常に全体共有し他者との比

裏に続きます



較・検討、加除修正を加えながら書く、という学習のあと、先生と生徒、生徒同士のペアによる会話を中心に、テンポよく話す学習が展開されました。

事後検討会では、テンポの良いスピーチや生徒同士のスムーズな会話、1人1台端末の活用等に意見が多く出されていました。繰り返し話す場面を設定することにより音声になじむことができ体で覚えられること、理解より技能が優先されること、時間のかかる書く活動では1人1台端末の活用が有効であること等の意見が出されていました。

小中学校の先生方が互いに授業を見合うことで、子どもの変容や指導の工夫を共有することができます。「学びをつなぐ」「教師をつなぐ」一貫教育の更なる発展に期待したいものです。

さつない学園研修会開催 12/27 札内中学校

12月27日(月)、さつない学園研修会が開かれました。9月に実施した札内中学校研究授業の動画DVDを事前に各校に配布し、可能であれば視聴して参加することにし、実施しました。1年国語、2年社会、2年数学、3年保健体育の4つの授業分科会では、はじめに授業の動画がダイジェストで流され、参加者が節目節目に入る授業解説(司会の先生から)を聞きながら動画を視聴し、その後研究協議を行いました。どの授業もグループ交流から全体交流へと対話的な学習が展開する内容になっており、各分科会では主体的な学びやICT活用をどう進めていくのかについて活発な意見交換がなされました。



授業分科会後は各部会の時間となり、相談の必要な部会小グループが会合をもちました。一日登校や出前授業、実践交流などのグループが熱心に話し合いを続けていました。

入学するのが楽しみに！中学校登校 ちゅうるい学園 札内東学園

12月16日(木)、忠類小6年生の中学校登校が行われました。小学生11名が朝から中学校に登校し6時間授業を体験しました。3時間目の理科では中学校教諭の指導でガスバーナーの使い方を学びマグ



ネシウムの燃焼実験を行いました。また、4時間目は中学校体育教諭の指導で、ニュースポーツと題してフリスビーを使ったゲームを体験しました。昼休みには、生徒会と児童会の交流なども行われました。6年生のアンケートでは、ほとんどの児童が中学校登校は楽しかったと回答、中学校で楽しみなこととして文化祭や体育祭、生徒会活動などが挙げられていました。小学校の先生方ご協力ありがとうございました。



12月20日(月)は札内東学園の中学校登校が行われました。

札内北小学校は2時間目に、白人小学校は4時間目に、理科室でガスバーナーの使い方について学習をしました。落ち着いて火をつけたり消したりすることができました。感染の状況が少し落



ち着いていましたので、3時間目は、白人小学校と札内北小学校で合同体育を行いました。準備体操や体育の時間の挨拶の仕方を教えてもらいました。



その後、グループになって自己紹介をしたり、チームに分かれてリレー形式の運動を行ったりしました。初めて会う仲間でしたが、楽しく活動することができました。どんな友達がいるのかを知ることができた貴重な時間になりました。